

## 7 社員との係わり:社員意識調査結果

企業における環境活動の徹底には社員の環境意識を高めることが最も重要となります。

このため、九州電力では、環境活動に関しての社員の意識や認識、更に活動の実践状況について把握することで、更なる環境活動の促進に役立てていくことにしています。

### 1 社員意識調査の概要

- 対象:従業員13,224名
- 回答数:7,428名(回答率:56%)
- 調査期間:2003年4月24日(木)～5月9日(金)
- アンケート内容  
基本的な環境活動に関する方針や計画に関する認知度、理解度と併せ、活動に関する考え方を確認、更に、個別環境活動や環境情報に関する実践度や活用度を設問形式でアンケート調査しました。

### 2 結果の概要

- 環境活動の方針や計画に関する認知度は約8割で、そのうち、理解度は約6割となっています。
- 環境活動の実践度は、個別具体的な活動に関しては、8～9割の高さであったが、ボランティアでの参加となる森づくりへの参加は4割に止まっています。また、環境情報やマニュアル類の活用度は3～6割と低くなっています。

- その他には、
  - 環境情報は必要なときに活用できる形で欲しい
  - 具体的な環境活動をどのレベルまでどのように行えば良いのかわかりにくい
 などの意見も出されています。

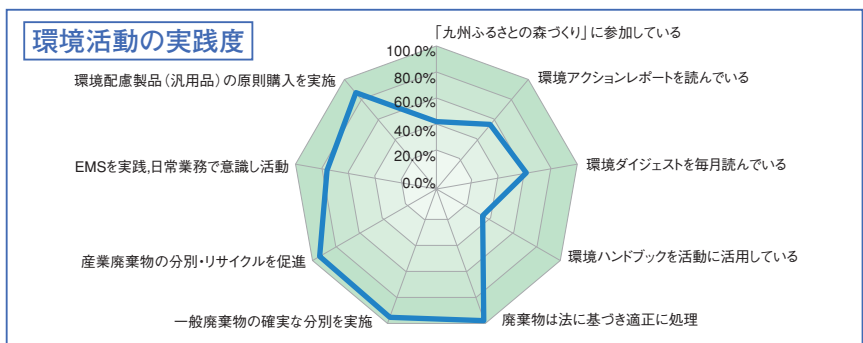
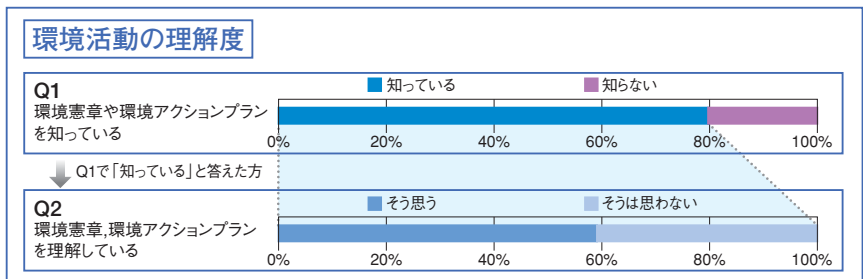
### 3 環境活動への反映

以上の結果から当社の環境活動の状況は、

- 全社的な活動への認知度は高いが、具体的な理解は充分でない
- 業務と一体となった環境活動は高い率で実践されているが十分な実践度ではなく、更に業務外での

活動の実践度はかなり低い

- 社内の環境情報は十分活用されておらず、情報提供手法や内容の改善が必要  
となっており、次のとおり今後の活動に反映させていくこととしている。
- 社内イントラネットでの環境方針、活動計画情報の充実
- 具体的活動の実践事例情報の充実による水平展開の促進
- 必要なときに活用できる環境情報提供の仕組みの構築
- 継続的な社員意識状況の把握による改善策の実施



## COLUMN NO.14 ファミリー・フレンドリー企業として厚生労働大臣努力賞を受賞

九州電力は、「平成14年度ファミリー・フレンドリー企業」として厚生労働大臣努力賞を受賞しました。

このファミリー・フレンドリー企業表彰とは、仕事と育児・介護が両立できる様々な制度を持ち、多様で柔軟な働き方を労働者が選択できるような取り組みを積極的に行っており、かつその成果を上げた企業を対象に、厚生労働省が1999年度より実施している表彰制度です。

今回の受賞は、法規定を上回る介護休職制度や短縮勤務制度、看護休暇制度などへの幅広い取り組みが評価されたものです。



受賞風景